

松下幸之助経営塾

第三十一期 特別講師 [2025年9月開講]



佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) ぴあ株式会社 終身相談役

1931 年、新潟県生まれ。54 年、大阪市立大学経済学部を卒業。56 年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)に入社。83 年、同社取締役・経営企画室長。86 年、同社専務取締役。87 年、同社取締役副社長。93 年より株式会社 WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97 年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOW だけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでも WOWOW でやりたい、キミを待つ」で終わっている。2001 年より、同社代表取締役会長を務め、06 年 6 月より、取締役相談役。社外取締役を経て 22 年 6 月より、ぴあ株式会社終身相談役(現任)。



住原 則也 (すみはら・のりや) 天理大学 名誉教授

1957 年生まれ。神戸大学文学部卒業。ニューヨーク大学大学院博士課程修了(文化人類学博士・Ph.D.)。天理大学国際学部教授、国立民族学博物館共同研究員、Anthropology of Japan in Japan 学会長(2012~2018 年)、公益財団法人松下社会科学振興財団理事(2010~2019 年)など歴任。2025 年 4 月 1 日から、同志社大学にて「働き方と科学技術研究センター」嘱託研究員、「人文科学研究所」嘱託研究員を務める。

著書・編著に『グローバル化のなかの宗教——文化的影響・ネットワーク・ナラロジー』(世界思想社)、『経営理念——継承と伝播の経営人類学的研究』(PHP 研究所)、『会社のなかの宗教——経営人類学の視点』(東方出版)、『アジア企業の経営理念——生成・伝播・継承のダイナミズム』(文真堂)、『経営と宗教——メタ理念の諸相』(東方出版)、『企業経営のエスノグラフィ』(東方出版)、『天理と命知——青年実業家・松下幸之助は何を見たのか』(道友社)などがある。



戸田 一雄 (とだ・かずお) パナソニックホールディングス株式会社 終身客員

1941 年、大阪府生まれ。64 年、滋賀大学・経済学部卒業、同年、松下電器産業株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)に入社。営業第一線を経験の後、70 年から、高級音響商品「Technics」の商品企画を 16 年間担当。本社スタッフ経験の後、88 年、電化調理事業部長就任を皮切りに、白物家電、住宅設備機器、音響・映像・情報(AVC)機器 各事業の経営を担当。2003 年、代表取締役副社長に就任。国内営業統括、デザイン、ブランド、宣伝、物流を担当する傍ら、中村社長と共にいわゆる「中村改革」を推進。全社重点商品開発、松下電工と松下電器の合併、国内営業流通改革、石油温風器事故対策等、多くの改革を推進した。「全ての改革の原点は、松下幸之助経営哲学の現場実践にあり」の実証者を自認する。06 年、副社長を退任。その後ネット通販大手のアスクル株式会社社外取締役に就任し、19 年退任。その他外部活動としてユニバーサルデザイン協議会議長、日本・ベトナム ビジネスサポートセンター会長、滋賀大学特任教授、学校法人「文化学院」理事長等を歴任。パナソニックホールディングス株式会社終身客員。



田村 潤 (たむら・じゅん) 100年プランニング株式会社 代表取締役

1950年、東京都生まれ。成城大学経済学部卒業。73年、麒麟ビール株式会社に入社。95年、支店長として高知に赴任した後、四国4県の地区本部長、東海地区本部長を経て、2007年、代表取締役副社長兼営業本部長に就任。全国の営業の指揮を執り、09年、麒麟ビールのシェアの首位奪回を実現した。11年より100年プランニング代表。同年より、PHPゼミナール「経営道コース」で特別講話を担当し、経営者育成に取り組む。

著書の『麒麟ビール高知支店の奇跡 勝利の法則は現場で拾え!』(講談社+α新書)はベストセラーとなる。近著で『負けグセ社員たちを「戦う集団」に変えるたった1つの方法』(PHP研究所)、『人生に奇跡を起こす営業のやり方』(PHP新書)がある。



青野 慶久 (あおの・よしひさ) サイボウズ株式会社 代表取締役社長

1971年生まれ。愛媛県今治市出身。大阪大学工学部情報システム工学科卒業後、松下電工(現・パナソニックホールディングス株式会社)を経て、1997年8月、愛媛県松山市でサイボウズを設立。2005年4月、代表取締役社長に就任。社内のワークスタイル変革を推進し、最高で28%あった離職率を大幅に低減するとともに、3児の父として3度の育児休暇を取得。また2011年から事業のクラウド化を進め、2020年にクラウド事業の売上が全体の75%を超えるまで成長。総務省、厚労省、経産省、内閣府、内閣官房の働き方変革プロジェクトの外部アドバイザーを歴任し、SAJ(一般社団法人ソフトウェア協会)筆頭副会長を務める。

著書に『ちょいデキ!』(文春新書)、『チームのことだけ、考えた。』(ダイヤモンド社)、『会社というモンスターが、僕たちを不幸にしているのかもしれない。』(PHP研究所)、監修に『わがままがチームを強くする。』(朝日新聞出版)がある。



岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルビン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ四十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね——松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。

※講師の肩書きは、2025年10月時点のものです